

せせらぎ

福生第三中学校
校長 植村多岐
PTA会長 木村明日香
広報委員会

No.129



一年間、ありがとうございました。

校長 植村 多岐

今年度の三中は50歳の誕生日を祝うべく、「創立50周年記念事業」を多くの方々のご協力の下に実施させていただいたことが印象的でした。この事業を通して、生徒、教職員、保護者、地域が本校の歴史と伝統を再認識し、活動を通して、今まで以上に地域と共に歩む学校づくりの土台ができたことに手ごたえを感じた一年でした。

ご尽力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

さて、私が大切にしている言葉に、幕末の長州藩、松下村塾で有名な、吉田松陰の「至誠にして動かざる者は未だこれ有らざるなり」というものがあります。《どんな困難なことも「至誠（この上ないまごころ）」をもってすればできないことはない！》という意味で、私は困難の前で、自分の非力さを感じた時、この言葉を思い出すようにしています。これは常に人間に対して樂觀的で善意の人である松陰らしい言葉で、現実はそのような甘いものではないと一笑されるかもしれませんが、教育はいつの時代も樂觀的で善意であることを失ってはならないと思います。

また、松下村塾での松陰の教え方は、一人一人に「あなたは何を学びたいのですか」を聞き、「わかりました。では一緒に学びましょう」だったそうです。若年の人に対しても同じ目線で、言葉も丁寧で、その人に尊敬や共感を寄せながら、寄り添って支援していく松陰の姿勢は、そこで学ぶ高杉晋作、伊藤博文、山形有朋らにとって松下村塾を楽しい学びの場にしました。この環境が塾生の真の実力を養い、明治の扉を開く原動力となったのではないかと思います。

第三中学校も楽しい学びの場であり、真の実力を養う場になっているか、自問する日々です。そのためには、三中の教室も生徒への愛情と期待とともに善意がうずまき、樂觀的な空間であるべきです。そして、生徒と教師が寄り添い、ともに学びあう学校づくりをみんなで明るく急がず確実に歩んでいこうと考えています。

4月はもうそこまで、間もなく進級、進学の時を迎えます。今後も「自立と共生」を旗印に、より良い三中の教育を目指し、教職員一同、さらに努力してまいります。令和6年度も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。一年間、ありがとうございました。

1年生 スキー教室

1月21日(日)~23日(火)
シャトー塩沢スキー場



2年生 東京課題研究 2月1日(木)



TGG

East Terminal
英語体験校外学習 2月6日(火)



3年生 令和3年入学当初

あっという間の
3年間
初々しい制服姿



ご卒業
おめでとう
ございます



編集後記

「せせらぎ」第129号はいかがでしたか？
 1年生のスキー教室では、子どもたちの絆が深まったことでしょう。2年生の東京課題研究では、班ごとに自分たちの力で行動し、様々な場所を訪れました。T.G.G.では、より実践的な英語学習ができたのではないのでしょうか。
 3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先生方からの想いのこもったことばを噛み締めてください。
 本誌の発行にあたり、校長先生をはじめ、多くの先生方にご協力いただきましたことを心より感謝いたします。
 2年広報役員一同